

記入日 平成29年 4 月 ●●日

大阪府教育委員会様

記入例
高等学校等就学支援金

生徒又は保護者等が、別紙の「記入上の注意」及び「留意事項」をよく読んで記入してください。

生徒が在学する学校の名称等	●●●●立●●●● 高等学校 ● 年 ● 組 ●● 番	学校の種類・課程・学科 <input checked="" type="checkbox"/> 全日制 <input type="checkbox"/> 定時制 <input type="checkbox"/> 通信制
フリガナ	●●●●● ●●●●●	生徒の生年月日
生徒の氏名	●●●●●●●● (生徒又は保護者が自署してください。)	昭和 平成 ●● 年 ●● 月 ●● 日
生徒の住所	〒●●●●-●●●●● ●●●●市 ●●●●町 ●-●-●	
保護者等の昼間連絡先	自宅・父・母・その他 ()	電話 (●●●●) ●●●●-●●●●●●

↓ 生徒又は保護者等が、下の3つのいずれかの口に直筆でを付けてください。

- 高等学校等就学支援金の申請（又は届出）をしません。
申請・届出しない場合、以下の記載は不要です。授業料の納付が必要になります。
- 受給資格認定申請書（初回時） 高等学校等就学支援金の受給資格認定を申請します。
- 収入状況届出書（2回目以降）保護者等の収入の状況に関する事項について届出ます。

※ 申請・届出する場合は、生徒又は保護者等が、すべての口に直筆でを付けてください。

- この申請書又は届出書の記載内容は、事実と相違ありません。
- 虚偽の記載により就学支援金を支給された場合には、不正利得の徴収や3年以下の懲役又は100万円以下の罰金等に処されることがあることを承知しています。
- 就学支援金を授業料に充てるとともに、必要な事務手続きを学校設置者に委任します。
- 次の①～④の事項をすべて確認しました。
 - ① 生徒は、高等学校等（修学期間が3年未満のものを除く。）を卒業又は修了していません。
 - ② 生徒が高等学校等に在学した期間が36月(*)を超えていません。
(*)定時制・通信制等に在学する期間はその月数を1月の4分の3に相当する月数として計算します。
 - ③ 裏面の保護者等に変更（離婚・死別、養子縁組等）があった場合は、速やかに届出ます。
 - ④ 修正申告や更正決定により市町村民税の所得割に変更があった場合は、速やかに届出ます。

1 高等学校等の在学期間について

① 現在の学校の在学期間	入学年月日 平成 29 年 4 月 1 日 ~ (転編入を含む)				
② 過去の学校の在学期間 (*)他の高等学校等に在学した期間を新しい順に必ず記入してください。また、就学支援金の資格消滅通知を添付してください。	学校名	課程	入学年月日	転・退学年月日	休学期間
		全・定・通	平成 年 月 日	平成 年 月 日	有・無
		全・定・通	平成 年 月 日	平成 年 月 日	有・無
		全・定・通	平成 年 月 日	平成 年 月 日	有・無